

樹木調査図

調査日 平成 30 年 10 月

■Kゾーン：現在の概況■
お花見広場の内、園路を挟んで北側は比較的幹周の小さいサクラが多い。このエリアは平成57年時点からそのまま残るサクラ類は少なく、以降に新たに植え替えられた樹木である可能性が高い。サクラ類は新旧に関わらず、樹勢低下が著しく、腐朽菌感染（キノコの発生）やデング果病の発生、大規模な材質腐朽等、傷みの激しいサクラが多い。接道部もしくは隣地境界付近の緑地においては、サクラ類のほか、アカマツ、スダジイ、マデバシイ等が植栽されており、いずれも平成57年時点に比べ、大きく育っている。

■Iゾーン：現在の概況■
樹木の大径化が顕著である。特に生長が著しいのは、エリアの南側に列植されているクスノキであり、昭和57年時点において平均幹周1.62m、幹周最大のものでも2.3m程度であったもののきなみ3.5mを超える大径木に生長しており、中には、4mを超える巨木へと生長しているクスノキもある。また、児童遊園エリアのイチョウについては、生長がやや緩慢であり昭和57年当時平均幹周1.13mに対し、現状において1.58m程度と肥大生長が明らかに少ない状況も確認できる。

■Eゾーン：現在の概況■
好日亭周辺は、特にサクラ類が多く、これらは大きく生長している。好日亭の西側から南側の植え込みに集中しているスダジイやマデバシイ、好日亭北側に植栽されたケヤキについても大型化が認められる。ただし、ケヤキおよびサクラについては、コフキタケ等のキノコが発生した樹木も多く、今後倒木や枝折れには注意が必要。

■Dゾーン：現在の概況■
昭和57年当時の植栽構成の中心となる植栽樹木は、196本のアカマツ（当時平均樹高6.7m平均幹周0.56m）、142本のサクラ類（当時平均樹高6.4m平均幹周0.55m）であったが両種とも数量は大幅に減少している。また、サクラ類については、材質腐朽の発生や樹勢低下等も多く確認される。当時12本あったシダレヤナギは1本のみ残存しているが、この1本についても材質腐朽が著しく、危険木としてリストアップされる状況にある。その他、目立つた樹木としては幹周2.2mを超えるイチョウや幹周3.5mを超えるスズカケノキが確認できる。

■Cゾーン：現在の概況■
当時修景池（綿打池）を取り囲む園路には、シダレヤナギが植栽されていたが、現在は1本も残っていない。現状は、シダレヤナギに替わりシダレザクラが植えられている。ただし、当該シダレザクラについては、樹勢低下が著しい個体も多数見られる。昭和57年当初多く植栽された高木類で残存が確認できる主な樹木は、ヒマラヤシダやアカマツが大型化している反面、当時多く植栽されていたボブラやシダレヤナギ、トベラについては残存が確認できない。

■Aゾーン：現在の概況■
昭和57年に多く植栽が確認されている、トベラおよびサワラは現存していない。主な樹木であるケヤキ、スダジイ、サクラ類は大きく生長しているものの、スダジイとサクラ類については樹勢低下が見られるものも多い。

■Jゾーン：現在の概況■
体育館の北東方向（プール側）を中心にスダジイ、マデバシイ、サクラ類を中心としたまとまった植栽が見られる。樹木はいずれも昭和57年時点に比較し大きく生長している。なお、当時主に体育館の南側に植栽されていたツバキについては、現存していない。



C33に着生したマツバラン

■Hゾーン：現在の概況■
千葉競輪場の駐車場には、昭和57年当時植栽されていなかったヤマモモの列植が確認できる。サクラ類については大型化が認められるものの、当時40本あった個体は現在では14本程度に減っており、残存する14本のうち5本は枯損木である。16本ずつあったイチョウ、スダジイについても現在4本ずつしか残っていないが、両種とも大きく生長している。

■Gゾーン：現在の概況■
残存する樹木はヤマモモが最も多く、植栽当時より大きく生長している。サクラ類についても大型化が認められるが、材質腐朽が多く発生したり、サクラデング果病に罹病する等樹勢低下が著しいものが多い。アカマツやスダジイも大きく生長しているが、スダジイについては材質腐朽や樹勢低下の著しいものもある。

■Fゾーン：現在の概況■
現在、ニセアカシア（特定外来）については1本を残すのみとなっており、この残っている1本についても、キノコの発生が見られ倒木の懸念がある。最も植栽本数の多かった、アカマツについては、ほとんどがクロマツであった可能性がある。現在遊歩道の景観の中心となっているサクラ類は大きく生長している反面、材質腐朽やデング果病の感染、樹勢低下等の問題を抱えている状況である。

■Bゾーン：現在の概況■
アカマツは主に接道部側に集中しており、大きく生長している。また、クスノキやモミジバズカケノキについても生長が著しい。本数は全体的に減少しているものの、樹種構成はさほど大きく変化していない。



B49に着生したマツバラン

- 危険樹木
- 保存樹木候補

0 25 50 75 100m

危険木及び保存樹候補、希少種（マツバラン）位置図

提案書作成における参考資料として活用ください。

なお、本図面は必ずしも現況を反映していない場合があることにご留意ください。

通し	ゾーン		樹木No	樹種	規格				危険木	保存候補	選択事由
					樹高(m)	幹周(m)	立数(本立)	枝張(m)			
1	A		C-1	ケヤキ	15	2.12		17.5		○	ケヤキらしい樹形、ランドマーク相応
2	A		C-2	サクラ類	7.5	1.77		10.5	○		幹腐朽・枝枯れ多い
3	A		C-3	ゴヨウマツ	5.1	0.97		6.5		○	Aゾーンの風景の中心、ランドマーク相応
4	A		C-4	エンジュ	13	2.37		16.3		○	樹種として少なく、規格が大きい
5	B		C-5	モミジバズカケノキ	17	3.70		23		○	目立つ、ランドマーク相応
6	B		C-6	サクラ類	6.5	1.45	2	3.8	○		樹勢が著しく悪く、幹途中にて切断あり
7	B		C-8	アカマツ	21	1.55		8.5		○	規格が大きく、ランドマーク相応
8	B		C-10	クスノキ	22	4.82		20		○	大径木(幹周3.5m超え)
9	B		C-14	ミズキ	4	0.90		4.5	○		幹芯の欠如
10	B		C-23	アカマツ	12.5	1.02		4	○		根元に腐朽開口あり
11	B		B-49	サクラ類	14	1.56		8	○		幹の腐朽 ※マツバラン着生あり
12	C		C-11	ヒマラヤスギ	21	2.43		13		○	規格が大きく、ランドマーク相応
13	C		C-12	ヒマラヤスギ	21	2.86		20		○	規格が大きく、ランドマーク相応
14	C		C-13	ヒマラヤスギ	21	3.38		19		○	規格が大きく、ランドマーク相応
15	D		C-15	サクラ類	14.5	1.95	2	14.5	○		根元に腐朽空洞あり
16	D		C-16	シダレヤナギ	13	1.33		7.5	○		歩道側枝枯れ、折れ枝発生
17	D		C-17	サルスベリ	7.5	1.00	2	8.5	○		根元に腐朽空洞あり
18	D		C-18	スズカケノキ	20	3.57		22		○	山頂付近に立地、ランドマーク相応
19	D		C-19	ニワウルシ	15	2.52		10.5	○		幹に腐朽開口あり
20	D		C-20	ニワウルシ	12	1.52		3.5	○		幹の腐朽および幹同士の癒合あり
21	D		C-21	サクラ類	3	1.14		7	○		幹の半分以上が枯死
22	D		C-24	スダジイ	9.2	2.01		6.3	○		枝分岐部にシイサルノコシカケ発生
23	D		C-25	アカマツ	18	1.97		11	○		幹に腐朽、座屈変形伴う
24	E		B-39	サルスベリ	15	4.15	8	10.5		○	大径木(幹周3.5m超え)、ランドマーク相応
25	E		B-40	サルスベリ	15	4.66	9	9.2		○	大径木(幹周3.5m超え)、ランドマーク相応
26	E		B-42	スダジイ	24	3.21		14.4		○	大径木(幹周3.6m超え)、ランドマーク相応
27	E		B-43	イチヨウ	25	2.42		9	○		溝枯れ
28	E		B-44	イチヨウ	18	1.59		11	○		溝枯れ
29	E		B-45	サクラ類	5.7	1.00	2	4.9	○		大枝腐朽
30	E		B-46	ケヤキ	19	2.04		8.5	○		大枝分岐部腐朽
31	E		B-47	スダジイ	5.02	2.17		7.5	○		寄生性キノコ(シイサルノコシカケ)発生
32	E		B-48	ヒマラヤスギ	20	3.21		19.2		○	規格が大きく、ランドマーク相応
33	E		B-50	センペルセコウイヤ	17	1.84	2	6		○	記念樹(寄贈木)、稀少木
34	E		B-51	シダレザクラ	7	0.56		5.3		○	記念樹(寄贈木)
35	E		B-52	クスノキ	10	2.16	3	10	○		寄生性キノコ(コフキタケ)発生
36	E		B-53	クスノキ	18	5.00	6	20		○	大径木(幹周3.5m超え)、ランドマーク相応
37	E		C-27	クリ	7.2	0.92		9	○		根元付近幹大規模腐朽が発生
38	E		C-28	サクラ類	6.8	1.97	3	11	○		大枝分岐部腐朽、根元ベッコウタケ発生
39	E		C-34	ケヤキ	18	2.17		13	○		幹にコフキタケ発生
40	F		C-29	サクラ類	17	3.01		12	○		根元にコフキタケ発生
41	F		B-30	スダジイ	10	1.09	2	8.4	○		大枝折れ枝あり、ポンプ施設至近のため注意
42	F		B-31	アオギリ	9.5	1.03		1.2	○		根元腐朽開口
43	F		B-32	サクラ類	10	2.50		11.4	○		寄生性キノコ(ベッコウタケ)発生、幹腐朽開口あり
44	F		B-33	ハリエンジュ(ニセアカシア)	18	2.72	2	10	○		寄生性キノコ(コフキタケ)発生、特定外来生物
45	F		B-34	サクラ類	13.5	1.03		3.2	○		幹の腐朽あり
46	F		B-35	サクラ類	13	1.66		7	○		寄生性キノコ(コフキタケ)発生
47	F		B-36	サクラ類	12	2.02	2	8	○		寄生性キノコ(コフキタケ)発生、さくらテング巢病
48	F		B-37	スダジイ	20	3.30		16		○	樹形が良い、ランドマーク相応
49	F		B-38	サクラ類	10	1.42		4.2	○		寄生性キノコ(コフキタケ)発生
50	F		C-30	サクラ類	18	1.73		12	○		根元に腐朽開口あり。根株腐朽の可能性あり
51	G		B-29	スダジイ	8.2	1.40		4.8	○		大枝から幹にかけて大規模腐朽発生
52	H		B-20	スダジイ	11	1.26		4.9	○		幹に対規模腐朽開口あり
53	H		B-21	クスノキ	22	4.50	3	14		○	大径木(幹周3.5m超え)、ランドマーク相応
54	I	I-1	B-22	サルスベリ	17	6.30		12		○	大径木(幹周3.5m超え)、樹形良く、ランドマーク相応
55	I	I-1	B-23	サクラ類	13	2.08		9	○		枝枯れ進行、腐生性キノコ(ヒイロタケ)発生
56	I	I-1	B-28	スダジイ	16.5	1.37		5.6	○		幹に対規模腐朽開口あり

通し	ゾーン		樹木No	樹種	規格				危険木	保存候補	選択事由
					樹高(m)	幹周(m)	立数(本立)	枝張(m)			
57	I	I-3	B-24	マテバシイ	9	1.03		5	○		幹大枝分岐部大規模腐朽あり
58	I	I-3	B-25	サクラ類	18	1.32		14	○		根元腐朽開口あり、癌種病罹病
59	I	I-3	B-26	サクラ類	11	2.21		6.2	○		根元に寄生性キノコ(ベッコウタケ)発生
60	I	I-3	B-27	サクラ類	10.5	1.87		6.5	○		根元に寄生性キノコ(ベッコウタケ)発生
61	I	I-1	B-41	カツラ	19	1.15		9.5	○		幹に大規模腐朽
62	I	I-1	C-22	スダジイ	6.8	1.24		5.8	○		幹にシイサルノコシカケ発生
63	I	I-1	C-26	イチョウ	14.2	1.58		9	○		根元付近種不明の腐生性キノコ発生7あり
64	I	I-2	C-31	クスノキ	22	4.18		18		○	大径木(幹周3.5m超え)、樹形良く、ランドマーク相応
65	I	I-2	C-32	クスノキ	22	4.08		16		○	大径木(幹周3.5m超え)、樹形良く、ランドマーク相応
66	J		B-18	クスノキ	25.2	4.10		13		○	大径木(幹周3.5m超え)、樹形良く、ランドマーク相応
67	J		B-19	クスノキ	19	3.60		10.2		○	大径木(幹周3.5m超え)、樹形良く、ランドマーク相応
68	K		B-1	サクラ類	11	2.46		10	○		根元に寄生性キノコ(コフキタケ)発生
69	K		B-2	サクラ類	15	2.73		12.6	○		根元に寄生性キノコ(コフキタケ)発生
70	K		B-3	サクラ類	18	2.26	3	9.8	○		根元及び幹の腐朽が著しい
71	K		B-4	サクラ類	14	1.93		6.8	○		根元に寄生性キノコ(ベッコウタケ)発生
72	K		B-5	クスノキ	19	4.07		17		○	大径木(幹周3.5m超え)、ランドマーク相応
73	K		B-6	サクラ類	14	2.12		3.5	○		根元に寄生性キノコ(コフキタケ)発生、さくらテング巣病
74	K		B-7	ミズキ	7	1.32	3	7	○		幹の腐朽著しく、樹勢が低い、
75	K		B-8	サクラ類	13	1.81	2	9.1	○		樹勢が著しく悪く、幹に腐朽あり
76	K		B-9	トウカエデ	13.5	0.55		7.5		○	保存樹(寄贈樹木)
77	K		B-10	イヌマキ	11.5	1.80		7.2		○	保存樹(寄贈樹木)
78	K		B-11	クロガネモチ	9.2	1.45		3.8		○	保存樹(寄贈樹木)
79	K		B-12	マテバシイ	5.8	1.18		4.6	○		幹に腐朽発生、
80	K		B-13	サクラ類	9	1.14		8.5	○		幹及び大枝、分岐部に腐朽発生
81	K		B-14	サクラ類	9	1.72		4.2	○		根元に寄生性キノコ(コフキタケ)発生、
82	K		B-15	スダジイ	12	1.92	2	6.3	○		幹に芯に達する腐朽開口あり、樹勢低下
83	K		B-16	ウメ	4.5	0.91		4.5	○		根元に寄生性キノコ(ヒトクチタケ)発生
84	K		B-17	サクラ類	11	1.63		9	○		根元に寄生性キノコ(ベッコウタケ)発生
85	K		C-33	サクラ類	8	1.00		2	○		幹～大枝大規模腐朽あり ※マツバラン着生あり
集計									57	28	

通し	ゾーン	樹木No	樹種	危険木	保存対象	規格				地上部衰退度											
						樹高(m)	幹周(m)	立数(本立)	枝張(m)	樹勢	樹形	枝の伸張量	梢端枯損	大枝・幹の損傷	枝葉密度	葉の大きさ	樹皮の傷	樹皮の新陳代謝	胴吹きひこばえ	活力度	衰退度判定
1	A	C-1	ケヤキ		○	15	2.12		17.5	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1.2	やや不良
2	A	C-2	サクラ類	○		7.5	1.77		10.5	3	3	2	2	3	4	2	4	4		3.4	枯死寸前
3	A	C-3	ゴヨウマツ		○	5.1	0.97		6.5	0	0	1	0	0	0	0	1	1		0.3	良
4	A	C-4	エンジュ		○	13	2.37		16.3	3	2	3	2	3	2	1	2	2		2.2	不良
5	B	C-5	モミジバズカケノキ		○	17	3.7		23	2	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2.1	不良
6	B	C-6	サクラ類	○		6.5	1.45	2	3.8	4	4	3	3	4	3		5	4	0	3.3	枯死寸前
7	B	C-8	アカマツ		○	21	1.55		8.5	2	1	1	0	1	1	1	2	2	0	1.1	やや不良
8	B	C-10	クスノキ		○	22	4.82		20	1	0	1	2	2	1	2	1	1	0	1.1	やや不良
9	B	C-14	ミズキ	○		4	0.9		4.5	2	3	3	2	3	3	3	5	3	2	2.9	著しく不良
10	B	C-23	アカマツ	○		12.5	1.02		4	3	3	3	2	3	3	3	3	2	2	2.7	著しく不良
11	B	B-49	サクラ類	○		14	1.56		8	4	3	3	3	4	3	2	4	3	3	3.2	枯死寸前
12	C	C-11	ヒマラヤスギ		○	21	2.43		13	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1.4	やや不良
13	C	C-12	ヒマラヤスギ		○	21	2.86		20	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1.4	やや不良
14	C	C-13	ヒマラヤスギ		○	21	3.38		19	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1.4	やや不良
15	D	C-15	サクラ類	○		14.5	1.946	2	14.5	2	2	3	3	3	3	4	5	3	3	3.1	著しく不良
16	D	C-16	シダレヤナギ	○		13	1.33		7.5	3	3	2	3	3	3	2	3	3	0	2.5	著しく不良
17	D	C-17	サルスベリ	○		7.5	1.001	2	8.5	1	1	2	2	4	3	2	3	3	2	2.3	不良
18	D	C-18	スズカケノキ		○	20	3.57		22	1	0	1	1	2	1	2	2	1	1	1.2	やや不良
19	D	C-19	ニワウルシ	○		15	2.52		10.5	3	3	3	3	4	4	2	3	3		3.1	著しく不良
20	D	C-20	ニワウルシ	○		12	1.52		3.5	4	4	4	4	4	4	2	5	3		3.8	枯死寸前
21	D	C-21	サクラ類	○		3	1.14		7	4	3	4	3	3	4	3	3	4		3.4	枯死寸前
22	D	C-24	スダジイ	○		9.2	2.01		6.3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	0	2.3	不良
23	D	C-25	アカマツ	○		18	1.97		11	2	1	1	2	1	1	1	3	2	0	1.4	やや不良
24	E	B-39	サルスベリ		○	15	4.151	8	10.5	1	2	1	2	1	1	1	1	1	0	1.1	やや不良
25	E	B-40	サルスベリ		○	15	4.662	9	9.2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1.0	やや不良
26	E	B-42	スダジイ		○	24	3.21		14.4	1	0	1	1	2	1	2	2	2	1	1.3	やや不良
27	E	B-43	イチョウ	○		25	2.42		9	2	1	2	2	2	2	3	4	2	2	2.2	不良
28	E	B-44	イチョウ	○		18	1.59		11	3	1	2	2	2	3	3	5	2	0	2.3	不良
29	E	B-45	サクラ類	○		5.7	1.001	2	4.9	3	4	3	3	4	3	2	5	4		3.4	枯死寸前
30	E	B-46	ケヤキ	○		19	2.04		8.5	2	2	2	3	3	2	3	4	2	0	2.3	不良
31	E	B-47	スダジイ	○		5.02	2.17		7.5	2	1	3	3	3	3	3	5	4		3.0	著しく不良
32	E	B-48	ヒマラヤスギ		○	20	3.21		19.2	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0.6	良
33	E	B-50	センベルセコウイヤ		○	17	1.841	2	6	2	2	2	1	0	0	1	0	2	0	1.0	やや不良
34	E	B-51	シダレザクラ		○	7	0.56		5.3	2	1	1	1	2	2	1	1	2		1.4	やや不良
35	E	B-52	クスノキ	○		10	2.163	3	10	3	2	4	4	2	2	3	3	3	3	2.9	著しく不良
36	E	B-53	クスノキ		○	18	4.998	6	20	2	0	1	1	1	1	1	1	1		1.0	やや不良
37	E	C-27	クリ	○		7.2	0.92		9	2	3	2	2	3	2	1	4	4	1	2.4	著しく不良
38	E	C-28	サクラ類	○		6.8	1.97	3	11	3	4	3	3	3	4	3	3	4		3.0	著しく不良
39	E	C-34	ケヤキ	○		18	2.17		13	2	1	1	2	2	1	2	3	1	1	1.6	不良
40	F	C-29	サクラ類	○		17	3.01		12	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	不良
41	F	B-30	スダジイ	○		10	1.085	2	8.4	2	3	2	1	3	1	0	4	2	1	1.9	不良

通し	ゾーン	樹木No	樹種	危険木	保存対象	規格				地上部衰退度													
						樹高(m)	幹周(m)	立数(本立)	枝張(m)	樹勢	樹形	枝の伸張量	梢端枯損	大枝・幹の損傷	枝葉密度	葉の大きさ	樹皮の傷	樹皮の新陳代謝	胴吹きひこばえ	活力度	衰退度判定		
42	F	B-31	アオギリ	○		9.5	1.03		1.2	3	4	3	1	3	4	3	2	3	2	2.8	著しく不良		
43	F	B-32	サクラ類	○		10	2.5		11.4	3	2	2	3	3	2	3	4	4	2	2.8	著しく不良		
44	F	B-33	ハリエンジュ(ニセアカシア)	○		18	2.716	2	10	2	1	1	2	2	1	0	3	1	3	1.6	不良		
45	F	B-34	サクラ類	○		13.5	1.029		3.2	3	3	2	3	2	3	3	2	3	4	2.8	著しく不良		
46	F	B-35	サクラ類	○		13	1.66		7	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2.6	著しく不良		
47	F	B-36	サクラ類	○		12	2.016	2	8	3	2	2	2	3	2	3	4	3	3	2.7	著しく不良		
48	F	B-37	スダジイ		○	20	3.3		16	1	1	2	2	2	0	0	4	2	1	1.5	不良		
49	F	B-38	サクラ類	○		10	1.42		4.2	3	3	3	4	4	3	3	3	3	2	3.1	著しく不良		
50	F	C-30	サクラ類	○		18	1.73		12	3	3	3	2	3	2	3	4	4	2	2.9	著しく不良		
51	G	B-29	スダジイ	○		8.2	1.4		4.8	4	4	3	3	4	3	2	3	4	2	3.2	枯死寸前		
52	H	B-20	スダジイ	○		11	1.26		4.9	3	3	2	2	2	2	3	5	2	2	2.6	著しく不良		
53	H	B-21	クスノキ		○	22	4.501	3	14	2	1	1	2	2	0	0	1	1	0	1.0	やや不良		
54	I	I-1	B-22	サルスベリ		○	17	6.3		12	1	0	1	2	2	1	0	1	1	0	0.9	やや不良	
55	I	I-1	B-23	サクラ類	○		13	2.08		9	3	4	3	3	4	3	3	4	4	3	3.4	枯死寸前	
56	I	I-1	B-28	スダジイ	○		16.5	1.37		5.6	2	3	2	1	1	1	2	3	2		1.9	不良	
57	I	I-3	B-24	マテバシイ	○		9	1.03		5	2	2	2	1	1	1	1	5	1	1	1.7	不良	
58	I	I-3	B-25	サクラ類	○		18	1.32		14	3	4	3	2	3	4	4	4	2	4	3.3	枯死寸前	
59	I	I-3	B-26	サクラ類	○		11	2.21		6.2	4	3	3	3	4	3	4	4	3	2	3.3	枯死寸前	
60	I	I-3	B-27	サクラ類	○		10.5	1.87		6.5	3	2	3	3	3	3	4	3	2	2.9	著しく不良		
61	I	I-1	B-41	カツラ	○		19	1.15		9.5	3	2	3	2	3	3	3	2	4	3	2.8	著しく不良	
62	I	I-1	C-22	スダジイ	○		6.8	1.24		5.8	3	3	4	4	3	4	2	3	4		3.3	枯死寸前	
63	I	I-1	C-26	イチョウ	○		14.2	1.58		9	2	1	1	1	1	2	3	1	1	2	1.7	不良	
64	I	I-2	C-31	クスノキ		○	22	4.18		18	1	1	1	2	1	1	0	1	1	0	0.9	やや不良	
65	I	I-2	C-32	クスノキ		○	22	4.08		16	2	1	1	2	1	1	0	2	1	0	1.1	やや不良	
66	J		B-18	クスノキ		○	25.2	4.1		13	1	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0.7	良	
67	J		B-19	クスノキ		○	19	3.6		10.2	1	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1.3	不良	
68	K		B-1	サクラ類	○		11	2.46		10	3	3	2	2	1	2	3	1	2	2	2.1	不良	
69	K		B-2	サクラ類	○		15	2.73		12.6	3	2	2	1	1	1	2	2	1	2	1.7	不良	
70	K		B-3	サクラ類	○		18	2.261	3	9.8	2	3	3	4	4	3	2	2	2	1	2.6	著しく不良	
71	K		B-4	サクラ類	○		14	1.93		6.8	2	2	2	3	3	3	3	1	2	0	2.1	不良	
72	K		B-5	クスノキ		○	19	4.07		17	1	1	2	2	2	2	2	1	1	0	1.4	やや不良	
73	K		B-6	サクラ類	○		14	2.12		3.5	4	3	4	4	4	4	5	5	5	3	4.1	枯死寸前	
74	K		B-7	ミズキ	○		7	1.323	3	7	4	4	3	3	4	4	3	5	5		3.9	枯死寸前	
75	K		B-8	サクラ類	○		13	1.806	2	9.1	4	4	3	3	2	3	3	4	4	2	3.2	枯死寸前	
76	K		B-9	トウカエデ		○	13.5	0.55		7.5	2	1	1	1	1	2	2	1	1	0	1.2	やや不良	
77	K		B-10	イヌマキ		○	11.5	1.8		7.2	1	0	1	0	1	2	1	1	2	1	1.0	やや不良	
78	K		B-11	クロガネモチ		○	9.2	1.45		3.8	1	2	2	1	0	1	1	2	2	0	1.2	やや不良	
79	K		B-12	マテバシイ	○		5.8	1.18		4.6	3	3	1	0	2	2	1	5	3	1	2.1	不良	
80	K		B-13	サクラ類	○		9	1.14		8.5	2	3	3	3	1	3	3	4	4	3	2.9	著しく不良	
81	K		B-14	サクラ類	○		9	1.72		4.2	4	4	3	3	2	3	3	4	4	2	3.2	枯死寸前	
82	K		B-15	スダジイ	○		12	1.918	2	6.3	2	1	2	1	3	1	2	3	3	1	1.9	不良	

通し	ゾーン	樹木No	樹種	危険木	保存対象	規格				地上部衰退度											
						樹高(m)	幹周(m)	立数(本立)	枝張(m)	樹勢	樹形	枝の伸張量	梢端枯損	大枝・幹の損傷	枝葉密度	葉の大きさ	樹皮の傷	樹皮の新陳代謝	胴吹きひこばえ	活力度	衰退度判定
83	K	B-16	ウメ	○		4.5	0.91		4.5	2	2	2	2	1	2	2	3	3	0	1.9	不良
84	K	B-17	サクラ類	○		11	1.63		9	1	1	1	1	0	1	2	1	1	2	1.1	やや不良
85	K	C-33	サクラ類	○		8	1		2	3	4	2	3	3	3	2	3	3	2	2.8	著しく不良